

ポクちんの 市内探訪



新川にアヒル・後免から南園バイパスに向けて流れる新川。ある朝、子供たちが集って何やらのぞきこんでいます。考えてみると、以前にはどの川でも見かけることができた。何年ぶりでしょう。小川にアヒルを見たのは。

◆◆◆ 今月のページ ◆◆◆

★市民賞……浜田春水さんら5人の功績者に……………(3)

広報座談会

防火は最高の消火 ……………(4)~(5)
家庭に1本の消火器を

***** 家庭の防火診断……………(6)

市民のひろば

石油あれこれ……………藤本 茂樹(田 村)
人情にふれる……………みの島房吉(小田原市)
つくし・オクラと私……………有沢 鈴衛(田 村)
マンガ……………古谷 栄幸(植 田) ……(8)~(9)
課長対話……………国保税と国保料
親子クイズ……………特賞に松木宏彰さん(片山)

お知らせのページ

各種年金の通算/谷間の老人に老令特別給付金/年末の郵便の心得/来年4月保育の入所…(10)~(11)
面接と申請/自動車の廃車と移転

■部落解放への道⑩解放へのきざし……………(7)

■不燃物の収集…収集の日が全て変更 ……(11)

■ゴミの収集…北部地区は毎週月・木曜日

〈こくち・ばん〉 検診、休日当番医、不燃物収集など……………(12)

今月の顔 おじいちゃん、いつまでもお元気でね

ミ三広報 1日…わが国最初の有料道路、松坂市外櫛田橋から宇治山田市外渡海橋の10.6キロが開通(昭28)2

13日は、煤払(すすはらい)。煤払いの後は、真っ黒に汚れて、人相も変り、こっけいな姿が目に見えよう。

煤湯出て父の目鼻の戻りたる
出牛 青朗

年賀郵便の特別扱いは15日から28日まで。虚礼廃止の一つにあげる人もいますが、古いお友だちや遠くにお住まいのご親せきからいただく年賀状は、元日のたのしみの一つです。

22日は冬至。年中でいちばん日が短く、日差しが弱まる時です。聖菓切るキリストのこと何も知らず 山口波津女
この日、お勤めのお父さんがたが、デコレーションケーキは買った大きな箱をかかえて帰宅を急ぐ姿が目立って多くなりました。



さて、クリスマスから大みそかまでの日の短いこと、まるでかけ足で追いかけているようです。

子どもたちは冬休み、どんな小さなお子さんでも、お母さんがいそがしそうにしているときには、お手伝いしてみたい気持ちがあるものです。

ポクの大事な本を相談もしないで片づけてしまう……といった子どもは子どもなりのグチがあるものです。

大みそかには、ぜひお子さんにも手伝ってもらうことにして、お母さんも台所仕事は早目に切りあげ、家族そろってテレビを見たり、年越しそばをいただきながら、除夜の鐘に耳をかたむけ、心を澄まして新年を迎えましょう。